

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
趣旨・概要	<p>東京医療保健大学は、医療の現場に強く、豊かな国際感覚を備え、医療の情報化に対応し、他の専門職と協働してチーム医療を実現できる人材を育成いたしますが、入学者には次のような資質が求められます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を有すること。 2. 基礎学力と豊かな教養の上に、専門性への探究心を有すること。 3. 自ら課題を設定し、調べ、考えて問題解決を図ろうとすること。 4. 何事にも積極的に取り組むことができること。 5. コミュニケーション能力・表現力が豊かで、他と協調して物事を達成できること。 6. 社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ようとする事。 7. 科学技術の進歩に関心を持ち、医療の情報化・国際化に意欲を持って取り組むこと。 <p>本学では、以上のような資質を有する学生を選抜するために、一般選抜試験の他に、総合型選抜、学校推薦型選抜、大学入学共通テスト利用入学試験などの実施により多様な入学者選抜を行います。</p> <p>これらの入学者選抜においては、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性・多様性・協働性」という「確かな学力」を把握するとともに、各学科の教育・人材育成の目的にかなう能力・資質・意欲・適性等を判断するため、試験種別ごとに個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、小論文、課題レポート、面接などを組み合わせ、多面的・総合的に評価を行います。</p>	<p>東京医療保健大学は、本学の建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」、「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、医療保健の分野において特色ある教育研究を実践することで、時代の求める高い専門性、豊かな人間性及び教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探究し、解決することができる人材を育成することを理念・目的として定めており、本学の建学の精神、理念・目的及び学位授与方針に基づき、「東京医療保健大学教育課程編成・実施の方針」を制定します。</p>	<p>東京医療保健大学に4年以上在学し、学則に定める所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得し「知識・理解」、「汎用的技能」、「態度・志向性」及び「総合的な学習経験と創造的思考力」に関する学士力を有するとともに、医療分野において高い専門性、豊かな人間性及び教養を備えていると認められる者を卒業とし、学士の学位を授与します。</p>
医療保健学部 看護学科	<p>看護学科では、思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を前提とし、人間と社会に対する幅広い知識と、医療・看護に関する専門知識・技術をもって看護を実践できる能力、看護の対象となる人や他職種と連携・協働して看護を展開するコミュニケーション能力、社会や医療現場の変化に対応しながら、自ら考え、行動できる力を備えた看護職を育成します。そのために、次のような資質を有する人の入学を求めています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 優れたチーム医療人の育成を図るため、「いのち・人間の教育分野」、「医療のコラボレーション分野」及び「専門職の教育分野」に関する科目を開設します。 2. 豊かな教養と人間性を涵養するために看護専門職である前に、一人の人間として「生命への畏敬、思いやり、人の絆、愛」を持って行動する姿勢を涵養します。 3. 専門職としての高い倫理教育を行うとともに、教育課程全般の 	<p>医療保健学部看護学科においては、以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を実践できる能力。 2. 人間と社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
	<p>看護職は、日々変化する医療・看護ニーズに対応していくため、生涯に渡って成長し続けることが求められます。そのため、基礎学力を基盤として、学ぶ楽しさを感じ、積極的かつ主体的に学ぼうとする意欲を持った人を求めています。</p> <p>また、人々の価値観が多様化する中で、一人ひとりの望む暮らしを実現するためには、人々の生活や地域社会に関心を注ぎ、他の専門職と連携・協働することが不可欠です。看護学科では、人間に対する関心と人を大切に思う心を有し、他者と協力し合いながら物事を達成しようとする人を求めています。</p> <p>現在の日本は、誰もが経験したことのない超高齢社会を迎えています。絶えず変化する看護の現場において、経験したことのない困難に直面しても前向きに乗り越えようとする姿勢を有する人を求めています。</p> <p>さらに、看護学科では、自由な発想を大切にし、新しいことに挑戦しようとする姿勢を有する人の入学を期待しています。</p> <p>※本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。</p> <p>各入試における評価内容等は次のとおりです。</p> <p>総合型選抜 予め提示するキーワードを基に、知識・能力を活用して作成する小論文により、受験者の思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書と面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>学校推薦型選抜 調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>一般選抜（A日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて数学・理科の2教科4科目の中から1科目を選択</p>	<p>修学にわたり、社会の規範やルールを尊重する姿勢を涵養します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 専門的な知識・技術を修得し、看護専門職として、社会の期待に応えるために専門知識及びその関連知識を順序性、体系性を持って修得できるよう教育課程を編成し、提供します。 国際化・情報化した現代社会で、看護専門職として対応できるよう教育課程を編成し、提供します。 語学力やコミュニケーション技術を修得して、他職種や看護の対象となる人々と連携・協働しながら課題解決に取り組める高い看護実践力を涵養します。 看護専門領域での課題に関して、社会の要求を踏まえた課題解決を実践できる教育の機会を提供します。 	<p>知識と技術をもって看護を実践できる能力。</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護の対象となる人々や他職種と連携・協働して看護を展開できるコミュニケーション能力。 生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組める能力。 国際化・情報化に対応できる幅広い視野と語学力・スキルを持って社会の要請に応えられる能力。

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
<p>医療保健学部 医療栄養学科</p>	<p>解答する方式により、いわゆる理系科目の基礎学力に重点をおいた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（B日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（C日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（特別日程） 記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テスト利用入学試験 大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>健康と食生活の関係が重視されていることから、医療現場での高度専門職の役割はますます大きくなっています。医療栄養学科では、医療の専門家の連携による「チーム医療」の一員として、参画できる高度専門職の養成を目指しています。現場に強い高度専門職を育成していくために最も必要なものが医療現場とのつながりで、本学科の臨地実習には、NTT 東日本関東病院をはじめ、多くの病院や高齢者施設などを実習施設として実践的な臨床教育を行います。</p> <p>また、優れたチーム医療人の育成を図るため、「いのち・人間の教育分野」、「医療のコラボレーション分野」及び「専門職の教育</p>	<ol style="list-style-type: none"> 優れたチーム医療人の育成を図るため、「いのち・人間の教育分野」、「医療のコラボレーション分野」及び「専門職の教育分野」に関する科目を開設します。 人間性豊かな、教養ある管理栄養士の養成のために、「いのち・人間の教育分野」の中に、「いのち・人間」、「社会科学」、「自然科学」、「外国語」、「情報科学」を配置し、「思いやり」、「人の絆」、「愛」の心を涵養します。 社会的規範やルールを尊重する姿勢を涵養します。 専門教育科目は、管理栄養士学校指定規則に定められたカリキュラムに準拠し、さらに医療分野に特化した栄養学も修学でき 	<p>医療保健学部医療栄養学科においては、本学の建学の精神に基づき、医療に関わる知識と技術を身に付け、人々の健康をプロデュースする食と栄養管理の専門家としてのチーム医療に貢献できる高度専門職を目指す上で、必要とされる以下の能力を修得したと認められる者に学士(医療栄養学)の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 高度専門職の行動特性を身に付け、人々の豊かな食生活と健康に寄与する基本的な能力。 食に関する情報を収集し、疾病の一次、二次予防の担い手

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
	<p>分野」に関する科目を開設し、医療現場に求められる管理栄養士を育成します。</p> <p>「医食同源」という言葉もあるように人の健康を守る上で、医と食は切り離しては考えられません。特に、今日の社会は、少子高齢化という急激な変化に伴い、生活習慣病対策は重要であり、管理栄養士、臨床検査技師など高度専門職はこれまで以上に病気の治療のみならず予防医学の観点から社会の要望に応える必要があります。さらに、医療現場に強い高度専門職は、病院だけでなく学校、保健センター、福祉施設、事業所、食品会社、給食会社、スポーツ施設など、食と健康に関わる様々な職場でも求められています。</p> <p>また、教育現場での食育の担い手として、安全な食事の提供を通して健康を支援することも重要です。そこで、医療栄養学科では、食と健康に関する知識をより深く追求する意欲を持っている学生、人とコミュニケーションができる能力を持ち、社会・地域住民に対して健康の面で貢献したいと考えている学生、大学で学んだことを実生活で一層有効活用したいと考えている学生を歓迎します。</p> <p>なお、本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。</p> <p>各入試における評価内容等は次のとおりです。</p> <p>総合型選抜</p> <p>事前に提示する課題に対して、知識・能力を活用して、その解決に向けて探究した結果をとりまとめたレポートにより、思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書と面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>学校推薦型選抜</p> <p>調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性・協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>一般選抜（A日程入試）</p> <p>個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意</p>	<p>るような教育課程を提供します。</p> <p>5. 主体的な研究態度や技能を修得するために、卒業研究、栄養教諭免許、食品衛生管理者・監視員、フードスペシャリスト、臨床検査技師などの資格取得に必要な科目をカリキュラムの中で編成します。</p> <p>6. 専門職としての管理栄養士実践力を有し、他職種との協働で問題の解決に取り組むために必要な知識とスキルを身に付けた管理栄養士を育成します。</p> <p>7. 専門職としてのコミュニケーション能力、語学力を涵養し、自ら考え、行動し、社会に貢献できる管理栄養士を育成します。</p>	<p>としての知識を修得し、食生活改善のための計画・実行・評価を実践または支援できる能力。</p> <p>3. 高度専門職として必要な疾病に関する知識、技術をもって実践できる能力。</p> <p>4. 高度専門職として栄養指導の対象者等との適切なコミュニケーションをとれる能力。</p>

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
医療保健学部 医療情報学科	<p>とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（B日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（C日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（特別日程） 記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テスト利用入学試験 大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>1. 人や生命に関心がある人。 医療保健は人や社会を基盤としており、全ての人のウェルビーイングを一緒に追求したい人を歓迎します。</p> <p>2. 社会における情報基盤の重要性・可能性を理解している人。</p> <p>3. 身近な情報技術やデータに興味や親しみがある人。</p> <p>4. 社会課題を解決する意欲がある人。 新しい技術を活用し、社会課題を解決する意欲がある人を歓迎します。</p> <p>5. 倫理観を大切に人。 医療および情報分野では、専門的倫理観を持ってチームで活動</p>	<p>医療情報学の体系的な理解のために、「いのち・人間の教育分野」、「医療のコラボレーション分野」及び「専門職の教育分野」に関する科目を開設します。</p> <p>1. 医療保健分野の課題を解決するために必要な医学・医療の基礎的な素養を修得する教育課程を編成し、提供します。</p> <p>2. 医療保健分野のビッグデータである診療情報を体系的に理解し、管理する手法を修得する教育課程を編成し、提供します。</p> <p>3. 情報社会を支える基礎的な情報処理技術に関する知識と技術を体系的に修得する教育課程を編成し、提供します。</p>	<p>医療保健学部医療情報学科においては、以下の能力を修得したと認められる者に学士(医療情報学)の学位を授与します。</p> <p>1. 医療・保健が人や社会の存立基盤であることを理解し、よりよく持続可能性のある医療・保健サービスの仕組みとその背景となる人の命の尊さ、医学・生物学の基礎を理解している。</p> <p>2. 医療・保健サービスを維持し発展させるために、人の健康に関する情報や、人に提供した医療・保健サービスに関する</p>

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
	<p>することが求められます。人やチームを尊重する人を歓迎します。</p> <p>高等学校において必ず履修すべき特定の科目はありません。医療情報学は多様な視点が必要な分野です。好きな科目、好きな分野を活かしたい、伸ばしたいという気概を持つ人を歓迎します。</p> <p>各入試における評価内容等は次のとおりです。</p> <p>総合型選抜</p> <p>1) 課題探究型 課題探究の過程で得られた学びや気づきを、レポートと面接で評価します。また、学びの計画や意欲、将来のビジョン等を自己推薦書と面接から評価します。これらの評価に基づき多面的・総合的に判定します。</p> <p>2) 面接重視型 自己推薦書の作成や面接準備、面接における対話等の過程で得られた学びや気づきを中心に、自己推薦書と面接から評価します。これらの評価に基づき多面的・総合的に判定します。</p> <p>3) 資格保有型 高等学校で取得した資格への取組を中心とした学びや成果、志望理由と学びの計画、将来ビジョンを自己推薦書及び面接で評価します。これらの評価に基づき多面的・総合的に判定します。</p> <p>学校推薦型選抜 調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性・協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>一般選抜（A日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語・国語・数学・理科の4教科6科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、同時に高得点科目の配点を高くすることで、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（B日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語・国語・数学・理科の4教科6科目の中から2科目を選択解答する方式によ</p>	<p>4. 社会課題の新たな解決策を考えるために、IoT、ビッグデータ、人工知能等の新技術の基礎的な知識と活用するための素養を修得する教育課程を編成し、提供します。</p> <p>5. 日々変化する医療保健および情報技術に横たわる倫理的・社会的・法的問題を配慮しながら、広義の医療人として協働する力を修得する教育課程を編成し、提供します。</p>	<p>る情報（これらを「診療情報」という）を管理する必要性を理解し、診療情報を管理するための基礎的な手法や技術を修得している。</p> <p>3. 情報社会（Society4.0）を維持し発展させるために、人の生活や社会を支えている情報を管理するための基礎的な情報処理技術を理解し、基礎的な情報処理技術者として、人が繋がる社会の基盤であるネットワーク技術、データベース技術、プログラミング技術を実践できる。</p> <p>4. 人とコンピュータがともにパートナーとして発展する社会（Society5.0）を支えるIoT、ビッグデータ、人工知能について基礎的な知識を有するとともに、これらの技術を活用することで社会課題の新たな解決策を考えることができる。</p> <p>5. 医療と情報技術における倫理的・普遍的規範を理解し、人やチームとコミュニケーションをとって協働することができる。</p>

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
東が丘看護学部 看護学科	<p>り、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、同時に高得点科目の配点を高くすることで、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（C日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語・国語・数学・理科の4教科6科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、同時に高得点科目の配点を高くすることで、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（特別日程） 記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テスト利用入学試験 大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語・国語・数学・理科・情報の5教科8科目の中から2科目を採用する方式により、文系から理系までの広い範囲や得意とする特定分野があるなど、受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>東が丘看護学部では、将来の日本の医療・保健・福祉を支える看護師（tomorrow's Nurse）を育成します。 看護師は、患者さんとそのご家族にとって最も身近な存在であり、チーム医療のキーパーソンです。東が丘看護学部では、国立病院機構のネットワークを活かした実践的な教育システムによって、将来の日本の看護師に必要な3つの能力、①高度な知識と技術に基づく自律した「看護実践能力」、②看護の発展に貢献する「自己開発能力」、③専門職として自己の成長を推進する「キャリア開発能力」を育成します。そのために、次のような資質を有する人材の入学を求めています。 看護師には、対象となる人々のニーズを見据え、専門職としての自律性に基づく確かな看護を実践することが求められます。そのため、十分な基礎学力に加え、新たな知識を自ら調べて自ら考える「自調自考」の学習姿勢を持った人を求めます。</p>	<p>1. 将来の医療・保健・福祉を支える“tomorrow's Nurse”に必要な3つの中核能力である「看護実践能力」「自己開発能力」「キャリア開発能力」を育成するために、以下に示す1)～7)の科目群を配置します。</p> <p>1) 看護の対象である人・人間を「健康」と「生活」から捉えるとともに、かけがえのない存在として尊重し、人権を擁護する能力を涵養する科目群</p> <p>2) 看護の対象である個人、家族、コミュニティとの援助的な人間関係を形成する能力を育成する科目群</p> <p>3) 人間の健康に関わる諸問題を全人的・包括的に捉え、多角的な思考・判断に基づき、あらゆる状況や場にある対象に応じた看護を実践する能力を育成する科目群</p> <p>4) 他の医療職や多職種と協働し、補完しあえるスキルミックスの基盤能力を育成する科目群</p>	<p>看護・看護学を理解し、将来の医療・保健・福祉を支える“tomorrow's Nurse”に必要な3つの中核能力（「看護実践能力」「自己開発能力」「キャリア開発能力」）を構成する以下の能力を修得したと認められる者に、学士(看護学)の学位を授与します。</p> <p>1. 豊かな人間性と職業倫理に基づき、専門職として看護の対象者と適切な人間関係を形成しつつ看護を実践する能力。</p> <p>2. 看護・看護学の基盤となるヒト・人・人間に関連した基礎科学及び看護学に関する知識・技術を修得し、多角的な思考・判断に基づいてあらゆる状況や場にある生活者一人一人に応じた看護を実践する能力。</p> <p>3. チーム医療において、看護職の専門性と自律性を基盤とし、多職種と協働して看護を実践する能力。</p> <p>4. 発展・進化する看護の知識・技術を積極的に探求し、自らも看護・看護学の発展に創造的に関わる能力。</p>

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
	<p>また、人々の価値観が多様化するなかで、あらゆる状況や場にある生活者一人一人に応じた看護を提供するうえで、様々な医療専門職との連携・協働が重要です。そのため、人間一人一人をかけがえのない存在として思いやり、尊重しながら他者と関係性を築き、協力して物事を成し遂げることのできる人を求めます。</p> <p>さらに、医療の進歩や社会のニーズの変化のなかで、看護師は生涯にわたって主体的に自己啓発し、専門職としてのキャリアを開拓し続けることが必要な職業です。そのため、看護を通して「自分を磨きたい!」、「看護師として成長していきたい!」という意欲と情熱を持つ人を求めます。</p> <p>なお、本学部では、1年次の授業科目である「自然科学の基礎」において、物理、化学、生物、数学に関する基礎知識の定着を図っていますが、入学後、無理なく学修を進めるために、高校においては必履修科目の中から物理基礎、化学基礎及び生物基礎をすべて履修しているか、選択科目（物理、化学、生物）の中から2科目を履修していることを望みます。</p> <p>各入試における評価内容等は次のとおりです。</p> <p>総合型選抜 自己推薦書により、高等学校教育までに育まれた「高等学校での学び」と「確かな学力」を中心に、本学が求める資質についての評価を行います。調査書では高等学校での修学状況や学内外での活動状況等から、意欲・主体性・協調性・積極性などに、面接では意欲・表現力・主体性・人間性などに、それぞれ重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>学校推薦型選抜 調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動での主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文では、医療・保健・福祉等についての記述を通じて、思考力・判断力・表現力の評価を行います。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>一般選抜（A日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて数学・理科の2教科4科目の中から1科目を選択解答する方式により、いわゆる理系科目の基礎学力に重点をおいた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（B日程入試）</p>	<p>5) 看護・看護学の発展・創造に向け、看護の知識・技術を多角的かつ科学的な思考に基づいて探求する能力を育成する科目群</p> <p>6) 専門職として主体的に自己研鑽を続ける能力や看護職としてのキャリア及び専門性の追求・発展を目指す能力を育成する科目群</p> <p>7) 国際的な視野をもち、地域社会、国際社会に貢献する能力を育成する科目群</p> <p>2. 3つの中核能力への到達の順序性を考慮して、各授業科目を「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」「統合分野」の4分野に分類します。</p> <p>3. 「自ら考え判断し行動できる自律した看護師」の育成を目指し、学生が主体性を発揮できる学習活動（アクティブラーニングを含む）を基本とした多様な授業を提供します。</p> <p>4. 臨地における総合的な判断力や自律的な看護実践力の育成を目指し、国立病院機構施設等との連携を活かした実習を各学年及び全看護学領域に組み入れ、豊富な臨床事例を活用した充実した実習を展開します。</p> <p>5. 講義・演習・実習の目的に応じ、知識・技術・態度について総合的に評価します。</p>	<p>5. 専門職としての自己の資質を主体的に向上させ、看護職のキャリアの多様性をふまえ、自己の目標に応じたキャリア開発に取り組む能力。</p> <p>6. 国際的な視野の下で、看護・看護学の専門性を発揮し、地域社会、国際社会に貢献する能力。</p>

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
立川看護学部 看護学科	<p>個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（C日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（特別日程） 記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テスト利用入学試験 大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>立川看護学部看護学科では、看護の実践能力、災害対応能力、看護を探究する能力を兼ね備えた「地域から信頼される Nurse」を育成します。</p> <p>現在は、社会の高齢化が進み、病院内だけでなく、人々が生活する場での看護が重要視されています。一方で、各地で自然災害が発生している状況では、被災者にとって最も身近な医療職である看護職が、最善の看護を提供できることが必要とされています。</p> <p>そこで、立川看護学部は、国立病院機構災害医療センターを中心とした、立川市近辺の病院や様々な施設との連携を活かし、臨地実習や多職種との連携・交流を通じて、健康支援への看護実践能力はもちろん、災害対応能力や看護探究能力を兼ね備えた、質</p>	<p>立川看護学部看護学科においては、学位授与の方針である「あらゆる状況や場で生活している人々に最善の看護を提供できる地域から信頼される Nurse の育成」を達成するために以下のようにカリキュラムを編成します。また、学修成果を適切に評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> あらゆる状況や場で生活している人々に最善の看護を提供できる“地域から信頼される Nurse”を育成するために、「健康支援のための看護実践能力」、「災害対応能力」、「看護探究能力」の3つを中核能力として位置づけ、これらの中核能力に必要な能力を育成するための科目を設置します。 中核能力であるエビデンスに基づいた確かな看護実践能力を育成するために必要となる知識・技術・態度を着実に身に付け 	<p>看護・看護学を理解し、時代・社会の保健・医療・福祉に関するニーズに対応し、中核となる3つの能力、①健康を支援する看護の実践能力、②専門的視点から平時のみならず災害時にも対応できる能力及び、③社会のニーズの変化に対応し看護を探究する能力を備えた、あらゆる状況や場で生活している人々に最善の看護を提供できる“地域から信頼される Nurse”の育成を目指し、以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人々を尊重し、豊かな知性と人間性をもち、倫理的な意思決定に基づく看護が実践できる能力 看護・看護学の基盤となるヒト・人・人間に関連した基礎科学及び看護学に関する知識・技術を修得し、科学的・総

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
	<p>の高い地域から信頼される看護師を育てます。</p> <p>看護学を学ぶ学生には、生命の尊厳を理解し、知的好奇心をもって看護を探求する姿勢が必要です。基礎学力を備えていることは当然ですが、何事にも興味を持って取り組む姿勢が大切です。本学部ではさらに、看護を通して「災害時でも最善の看護が提供できる能力を身に付けたい！」という情熱と、未来の臨床現場を担う決意と高い志を持った学生を求めています。</p> <p>なお、本学部では、1年次の授業科目である「自然科学の基礎」において、物理、化学、生物、数学に関する基礎知識の定着を図っておりますが、入学後、無理なく学修を進めるために、高校においては必修科目の中から物理基礎、化学基礎及び生物基礎をすべて履修しているか、選択科目（物理、化学、生物）の中から2科目を履修していることを望みます。</p> <p>各入試における評価内容等は次のとおりです。</p> <p>総合型選抜 事前に提示する課題に対して、知識・能力を活用して作成する「事前課題レポート」により、受験者の思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書及び面接では、受験者の意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>学校推薦型選抜 調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動での主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文問題では、課題を的確に理解・判断し自分の考えを記述する力、論理的・批判的及び発展的思考力、文章構成や表現力の評価を行います。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>一般選抜（A日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（B日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・</p>	<p>るために、【基礎分野】【専門基礎分野】【専門分野】の科目群を設置し、段階的かつ系統的に授業科目を各学年に配置します。具体的には以下の1)～8)の科目群を編成し、配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護の対象である生活者として人・人間の理解と自然・社会科学の理解を深め、人権を擁護し人間関係を形成する能力を育成するため、【基礎分野】科目を置く。 2) 健康問題を解決するための看護実践能力の基盤として、【専門基礎分野】の科目を置く。 3) 健康支援のための看護実践能力、及び看護倫理の基本的能力を育成するために【専門分野】として、1年次から『基礎看護学』『基礎看護技術学』の科目を置く。 4) あらゆる状況にある、生涯にわたっての対象の理解と看護実践能力の育成のため、【専門分野】として、『臨床看護実践学』の科目を置く。 5) 地域で生活する人々の健康問題を解決するための看護実践力を育成するために、【専門分野】として、1年次生から『地域・在宅看護学』の科目を置く。 6) 医療職や多職種と協働し、スキルミックスを通して最善の医療が提供できる基礎能力を育成するための科目を置く。 7) 様々な災害発生に必要とされる災害支援の基本的能力を身に付け、将来、災害に伴う支援活動、減災活動の中でリーダーシップを発揮し、限られた資源、体制などの中で、調整能力を発揮し、適切な対応ができる実践力のある看護師を育成するために、災害看護に関する科目を系統的に置く。 8) 看護の問題を抽出し解決する看護探求能力の育成のため、【基礎分野】【専門基礎分野】【専門分野】を通し、各学年に科目を置く。 <p>3. 連携する国立病院機構や地域にある豊富な臨地現場を活用し、実習等を通して、様々な職種や人々と連携・協働し、総合的、自律的判断に基づく看護実践能力を修得し、災害を含む臨床現場に強い実践者を育成します。</p> <p>4. 学修成果の評価は、シラバスに明示された学修目標と評価方法に基づき、試験、レポート、学生の自己評価等を加え、総合的に評価を行います。また、学生の学修状況やすべての科目に対して学生による授業評価を行い、これらを活用し、教育内容や方法の改善につなげます。</p>	<p>合的な思考・判断に基づいて自律的に看護を実践できる能力</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 地域の多様な場で生活する人々のニーズを包括的にアセスメントし、対象者や医療従事者等の多職種と人間関係を形成しながら組織にコミットメントし、連携・協働することができる、健康を支援する看護実践能力 4. 災害等の健康危機や健康課題に対して、看護・看護学の専門性を発揮し、地域社会、国際社会において、災害看護を実践できる、災害対応能力 5. 発展・進化する看護に係る課題を積極的に探求し、自らも看護・看護学の発展に創造的に係わることができる、看護探求能力

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
千葉看護学部 看護学科	<p>判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（C日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（特別日程） 記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テスト利用入学試験 大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>千葉看護学部では、東京医療保健大学の方針に基づいて、地域完結型の医療保健に積極的に参画できる看護専門職を育成します。</p> <p>そのために、今、みなさんが持っている柔軟性と応用力をさらに強化して、あらゆる人の生活をより充実したものにするために、サポートする能力を培うことを志向する人を求めています。</p> <p>日ごろから他者への興味・関心を持ち続け、相手の話を聴いて、その人の願いを実現するために自分にできることを探そうとする姿勢が求められます。</p> <p>また大学入学後は、ボランティアや部活、課外活動など、生活者としてのさまざまな体験をされることを希望します。それが、さまざまな世代と立場の人との関わりの際に役に立ちます。また、それらの特別な場だけでなく、日常生活の中であっても、出</p>	<p>1. 高度な看護が実践できるために『看護実践能力』、『段階的判断能力』及び『柔軟な創造力』の3つの能力を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『看護実践能力』とは、社会人としての一般的な教養を備えた上で、確かな専門知識をもとに安全で安楽な看護技術を提供できることと、これに加えて、関係する患者・家族及び多職種と協働するためのコミュニケーション能力をもとにチーム医療を推進する能力です。 ・『段階的判断能力』は、起きている複雑な現象を多角的にとらえ、専門知識をもとにタイムリーな論理的決定を繰り返し、積み上げる能力のことです。また、この中には倫理的な判断が必須です。 ・『柔軟な創造力』とは、正解のない現代医療・介護の現場で、サービスを利用する人びとにとってよりよいケアと環境とを創造し提案する能力です。これには、現状分析力と総合判断力 	<p>地域完結型の保健・医療において看護に期待される役割を果たすとともに、社会の変化に応じて継続的に発展し、看護の新たな価値を創造していく基盤となる力として、以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を実践できる能力。 2. 人びとと社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識・技術を論理的・統合的に活用し、様々な健康段階にある人びとの安心で充実した暮らしを支える看護を実践できる能力。 3. 看護サービスを受ける人びとや他職種と効果的な関係を構

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
	<p>会う人や何気ない景色やニュースから、人々の幸せとは何か、「未来」を生み出す「今」を考え、自分なりの意見を持つことが可能です。</p> <p>看護専門職は大学を卒業し、国家試験に合格したら「完結」するわけではありません。看護職となってからも新しい知見を身につけて自分の力で成長し続けます。大学では4年間の在学期間だけでなく、卒業後も自律して成長し続けることができるための基盤を形成します。そのために、常に広い視野で、かつ深く、見つめようとする意志を持つ人材を求めています。</p> <p>なお、本学科を希望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。</p> <p>各入試における評価内容等は次のとおりです。</p> <p>総合型選抜 課題レポートにより、受験者の思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書では、受験者の意欲・主体性・協働性などに重点をおいた評価をします。面接では、課題レポートならびに自己推薦書の記載内容と合わせて、思考力・判断力・意欲、主体性、協働性に重点をおいた評価を行います。これらにより、多面的・総合的に判定します。</p> <p>学校推薦型選抜 調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性や協働性、協働分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>一般選抜（A日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（B日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目</p>	<p>及び人々に真摯に向き合う姿勢が必要です。</p> <p>2. カリキュラムの特色としては、基礎的な幅広い知識・教養を身につけるとともに論理力と統合力を強化する科目を設定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのち・人間の教育分野として専門職の教育分野の基盤となる論理力の向上をねらう科目と、社会の中の多様性を理解するための科目、コミュニケーション力の向上をねらう科目を複数設定しました。 ・専門職の教育分野では基本的な専門科目に加えて、社会の流れを敏感に察知するための科目や倫理的感受性を高める科目、及び論理力と統合力を高める科目を設定しています。 ・また、自身のキャリア及び組織について考える能力の基盤となる科目も複数設定し、学んだ知識を元に、卒業後も自己研鑽し続けることの必要性についての自覚を促します。 	<p>築し共通の目的達成に貢献できる連携・協働能力。</p> <p>4. 看護専門職者として生涯を通じて自己研鑽し、看護実践力の向上と新たな課題発見・解決に向け自律的に取り組める能力。</p> <p>5. グローバル化・情報ネットワーク化に対応できる視野と語学・情報スキルを持って社会のニーズをとらえ創造的に応えられる能力。</p>

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
和歌山看護学部 看護学科	<p>を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（C日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（特別日程） 記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テスト利用入学試験 大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>和歌山看護学部看護学科では、何事にも興味をもち主体的に学ぶ能力と、コミュニケーション能力を備え、さらに地域社会に関心を持ち、そこで生活する人々の健康を担う決意と高い志を持った学生を求めています。</p> <p>現在、和歌山県は人口の減少、高齢化、単独世帯の増加が進んでおり、地域で暮らす人々が病気や障がい、高齢になっても住み慣れた場所で少しでも長く自立した生活が続けられるよう支援することが地域社会の課題となっており、地域で暮らす人々の健康の維持・増進に貢献できる質の高い看護職が必要とされています。</p> <p>具体的には、高度急性期医療における看護や在宅で療養中の方々に対する支援や看護、和歌山県で今後起こりうる自然災害時などへの看護があげられます。そのためには、高度な判断力と確かな看護実践能力をもって、チーム医療の一員としての役割が果</p>	<p>教育課程編成の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山看護学部看護学科では、理念・目的に掲げる看護職を育成するために、教養分野科目と専門分野科目を体系的に編成し、科目横断的に学位授与の方針（DP）に掲げる力を培います。 ・DPと各科目との関係を示すカリキュラム・マップを作成することにより、カリキュラムがDPと整合していることを確認します。 ・科目の編成にあたっては、保健師助産師看護師学校養成所指定規則における看護師学校養成所の指定基準の教育内容を満たすよう科目内容と時間数の対比を確認するとともに、関係機関がアップデートする看護基礎教育に必要な要素を参照します。また、保健師学校養成所の指定基準及び養護教諭教職課程に関する科目を体系的に配置します。 <p>教育課程における教育・学修方法に関する方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育効果を高めるため、授業は、その内容や目的に応じ、講義、 	<p>和歌山看護学部看護学科においては、学部の理念・目的に掲げる看護専門職を育成するために、以下に挙げるような力を修得したと認められる者に学士（看護学）の学位を授与します。</p> <p>[知識・理解]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護専門職として必要な、医療・看護に関する基本的知識と技術及び思考方法が身につけている。 2. 人間と社会に対する幅広い知識を有しており、地域社会をはじめ各々のコミュニティにおける人々の生活と健康の観点で看護を考えることができる。 3. 創造的で柔軟な思考や発想を担保する幅広い教養を身につけている。 <p>[汎用的技能]</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 言語能力を基礎としたコミュニケーションスキル、グローバル感覚、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
	<p>たせる看護職が必要となります。</p> <p>そこで、和歌山看護学部看護学科では、地域の特性を把握し社会・文化・人間と生活に対する理解を深め、豊かな人間性と倫理観をもち、多様な環境においてあらゆる健康レベルの対象に働きかけできる看護職、時代の要請に応える新たな看護を創造していくことができる看護職を育成していきます。</p> <p>なお、本学科を志望される方は、入学後の専門科目の履修の基盤となりますので、理科の選択科目において「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。</p> <p>各入試における評価内容等は次のとおりです。</p> <p>総合型選抜 予め提示されたテーマについて、主体的に創意工夫しながらプレゼンテーションを行うことで、知識・技能・思考力・判断力・表現力を評価します。自己推薦書と面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>学校推薦型選抜 調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。</p> <p>一般選抜（A日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（C日程入試） 個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。</p> <p>一般選抜（特別日程）</p>	<p>演習、実習あるいはこれらの併用により行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPに掲げるそれぞれの力の育成は、主としてその育成を担う科目に拠るだけでなく、様々な科目での授業方法を通して行います。 これにあたり、初年次に、「アカデミック・スキル」で大学の学修方法の基礎の修得を図るとともに、「キャリア教育Ⅰ」で自己研鑽する態度を方向付けます。 特に、看護専門科目においては、確かな専門性ととともに、人と社会の理解、論理的思考力、問題解決力、豊かな人間性と教養の涵養を図ります。 また、初年次の方向付けに加え、事後に学びの意味付けを行うことで、力の修得を促進します。 ・学修時間が確保されるよう、履修登録できる上限単位数を設定し、組織的な履修指導、事前・事後学修等の指示、オフィス・アワーの設定、自習スペースの確保などを行います。 ・豊かな教養を育むために、「教養分野」においては複数の下位分野の科目を横断的に履修することとします。 ・修得すべき内容が多い分野では、科目を細分化することにより、段階的で確実な知識・理解の修得を図ります。 ・実習科目においては、少人数グループでの指導により、これまで学んできた内容の定着と昇華を図るとともに、多様な臨地実習施設での学びを提供することにより、地域に根ざした確かな看護実践能力を涵養します。 ・全ての授業において、授業の概要及び到達目標、学位授与の方針との関連、授業計画（内容と方法）、成績評価の方法、教科書・参考書、事前学修等が記載されたシラバスを作成し、学生に周知するとともに、シラバスに従って授業を実施します。 <p>学習成果の評価の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の成績評価は、方法をシラバスに記載して周知し、それに従って行います。 ・DPに掲げた力の評価は、授業科目の成績評価を総合して行います。 	<p>問題解決力といった、知的社会生活に必要な学士にふさわしい汎用的技能を有している。</p> <p>[態度・志向性]</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神が身につけている。 6. 看護専門職としてあるいは社会の一員として、関係する多職種や人々と連携・協働することができる。 <p>[態度・志向性及び総合的な学習経験と創造的思考力]</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 看護専門職としての倫理観を有し、自らを律し、生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組む態度と能力が備わっている。 8. 上記の力が備わった人間として、看護を実践することができる。

	入学者受け入れの方針	教育課程編成・実施の方針	学位授与の方針
	<p>記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テスト利用入学試験</p> <p>大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず履修状況に応じた学習能力を判定します。</p>		